【委員会報告】

2019 年度 就職懇談会が開催されました

企画委員 西田高大(短大13回)

6月1日(土)に恒例の就職懇談会が大学4年生を対象に開催されました。企画委員の西田(短大13回)の司会進行のもと、出石企画委員長(57回生)より、就職懇談会の趣旨を説明して頂き、次に玉田学友会会長(53回生)から、学友会の歴史や活動ついての説明をして頂きました。

今年度の先輩からの一言は、4名の方に講師を引き受けて頂きました。



今回初参加の岩本大成氏(京都大学医学部附属病院:大学6回生)からは、大学病院の役割と就職先を選ぶ際の注目すべき点を病院の特徴をあげ紹介して頂きました。また国試に合格するため模試の点数から実例をあげ学生にアドバイスを頂きました。



八木允人氏(御池クリニック:短大 17 回生)からは、就職先を予防医学施設にするか病院にするか迷っている学生に、予防医学とはそもそも何か、特徴や利点、欠点を詳しく講演いただき、画像の正常・異常を判断できる力が必要で、技師にとっては何百件中の 1 検査でも受診者には 1 年に 1 回の重要な検査で慣れはよくないと伝えました。

竹井 美佐希氏(みどりヶ丘病院:短大13回生)からは、4人の子供をもつお母さんとして、女性技師のライフスタイルや産休・育休の説明を詳しく講演頂き、そして新人教育の経験から新人技師として覚えていて欲しい事と題し、就職してからの心構えも講演して頂きました。

中村 登紀子氏(順天堂大学医学部附属病院静岡病院:短大 10 回生)からは職場の紹介の後、学生時代は当時流行っていたギャルだったと衝撃的な写真を披露され、過去を赤裸々に学生のために告白して頂きましたが、その中でもやる時は必死に頑張った。国試に向けて先生や仲間を頼り、合格するために「やる時はやる」と激励していました。その他、まだまだここでは書ききれない程の内容の講演をして頂きました。

第2部として採用する側からのアドバイスとして技師長として勤務されている錦学友会副会長(54回生)にどのようにしたら好印象をもってもらえ、悪印象の違い等説明頂き、天理よろず相談所病院での採用試験の紹介、面接のポイント、卒後教育など様々な内容の講演をして頂きました。

第2部後半のQ & Aでは、参加頂いた理事、オブザーバーに学生からの質問に答えて頂きました。質問内容として、地方出身だがそれは関西での就職にデメリットなるか?、認定資格で難しいものは何か?、一度就職した病院で居続けた方がいいか、転職した方がいいか?など、様々な質問がありました。

講演のあと、恒例となりました BBQ では、今年度は例年以上に熱心に学生が質問する光景がみうけられ、理事の一人から全くお肉が食べられなかった(笑)と言わせるほど大変盛り上がりました。

最後になりましたが、ご多忙にも関わらず出席頂きました講師・オブザーバーの方々、お世話頂いた大学の皆さま、学友会理事の皆様そしてバーベキューの準備をして頂いた西谷先生に厚く御礼申し上げます。



以上

*通巻 233 号 2019 年 10 月 10 日発行(2019-No.3)より